

【 今年度の方針 】

- (1) 職員は子どもの姿から学ぶことを大事にして、いつでも共感する視点で働きかけていく。子どもの気持ちに寄り添い、子どもの成長によって保護者との信頼関係が築かれる事を学んでいく。
- (2) 法人研修での学びを基に、職員同士の交流・保育の交流を通して人権意識や学ぶ気持ちを高め保育の力量を高めていく
- (3) 保育園が子どもにとって安心して生活する場、保護者にとっては安心して預けられる施設になる。朝夕の保育や混合保育の場面では、子どもたちの交流や安全な保育の仕方を研究して計画的な保育をしていく。
- (4) 地域の福祉施設としての役割を果たす。

【 2017年度のまとめ 】

(1) ①子どもの姿に寄り添って計画と反省

- ・指導計画作成時に主任・園長が添削指導し、職員会議ではクラスごとに子どもの姿を出しあって共有してきた。しかし、職員の都合を優先する保育をしがちな事があり事情を聞いたり話し合ったりした。
- ・クラス日誌が提出された際に、記録の仕方や子どもとらえ方などについての助言をしてきた。クラスで解決したほうがいい内容が、保育士の問題とされないように主任・副園長が積極的に助言した。

② 保護者との信頼関係

- ・傷やケガ・食事変更・・・ひっかき傷で受診する事が多かったが誠意をもって対応する事で理解していただいた。日中の与薬や食事変更において、説明不足や丁寧さに欠けることでうまくいかない事もあった。
- ・個人面談や年3回のクラス懇談会では、子どもの発達と関わりを相互理解し家庭状況を知る機会として丁寧に取り組んだ。父母の会主催の茶話会は、保護者に好評で参加者が多くざくばらんな場を求めていることがわかる。
- ・延長保育の利用状況は、限定された家庭となっているが昼間の保育と同様に大切な時間として関わるよう職員に伝えてきた。
- ・納涼会や餅つき会、運動会など保護者と共同で行う行事は工夫して行うことができた。運動会は、鹿島神社の祭礼と同日で心配の声があったが段取りよく終了した。大井第一小学校の協力が大きかった。

(2) 研修を通じて大事にしたこと

①保育と人権

- ・法人職員研修は双方の主任・副主任と打ち合わせを重ねて、大宮勇雄先生を講師に改定される保育指針の問題点を、日本国憲法の視点からわかりやすく話していただいた。子どもの姿を通しての講義は、イメージもしやすく印象深かった感想があった。
- ・日々の保育の中でも、子どもの気持ちに寄り添う事と同様に職員同士の人権意識を高めたいと願って取り組んだ。具体的には、先輩から新任職員への指導の仕方や複数職員での伝言や報告時の話し方、正規と非常勤などの所で問題があった。
- ・性差を強調しない・・・園児の出席確認はさんづけにしよう

②園内研修

- ・事故発生時の対応の仕方（心肺蘇生・アレルギー児の誤食・誤嚥や熱性けいれん等）や食育や保健に関

して内容の再確認をしあった

- ・子どもを理解するという事は・・・子どもととことん向き合う保育について共有した。

②保育の交流・職員交流

- ・みどりの丘との交流も、行事の中で数回しかできなかった。お互いの保育を見ることは学びになるので、公園で待ち合わせをすとか、年間の取り組みにする等の工夫があると良かった。
- ・栄養士の業務軽減を図る目的での統一献立や職員の欠員補充で、双方で補助に入る事が出来た。お互いの交流となり、業務や段取りの見直しの機会ともなった。

③職員の自己目標と反省 → 職員が成長していく事も、励ましと待つ姿勢が大切だが言葉遣いや業務態度の助言・指導に苦慮した

④非常勤職員研修・・・子どもの関わり方や、保育園で大事にしている事などを伝えることができた。

(3) 安心できる保育園に

①設備整備について・・・滑り台・砂場周りの改修をした。三輪車や大型ブロックなどの収納について検討していきたいところ。

厨房環境については、吸排気の問題が残っているが食器棚を取り付けたことで害虫対策ができた。

②保育環境・・・職員の当番緩和で取り入れた朝の受け入れ時の職員配置に馴染んできている。

玩具の片付けや、モノを丁寧に扱ったり大事にすることは職員が手本となっていきたいところ。

(4) 社会福祉施設としての役割・その他

○老健施設との交流を、計画的に取り組めると良かった。子どもたちにはその日の経験が、心地よいものとなっている。触れ合い動物園や納涼会に参加していただけて良かった。

○保育園見学が多く、見学日を決めて対応した。この日の対応・保育の様子を見て入園している事もわかった。一時保育の受け入れも、リピーターが多い。

○「あそびにきてね」の発行は遅れ気味で反省するところ。また、ホームページの更新も難しかった。

○大気中の放射線測定を3ヶ月ごとに計画していたが遅れがちとなった。海拔シールを貰う事にしただけできなかった。

(資料)

① アレルギー児

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20

② 一時保育

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数			12	12	15		4		5	23	25	3	99

③ 延長保育

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
補食	97	85	93	105	78	110	81	93	104	93	91	131	1161
夕食	37	44	35	42	30	55	55	53	51	42	46	50	540

④ 実習生受入れ ……8名

⑤ ボランティア受け入れ……品川社協 11名

⑥ 年末保育 ……みどりの丘へ 1名